

# さいたまシニアユニバーシティー岩槻校第9期会報第4号

## 会長メッセージ 羽廣 晶子

ユニバーシティー岩槻校に入校して以来あっという間に半分の所に来てしまいました。シニアになりますとより一層月日のたつのが早く感じるものです。8月は市長講和でした。今までの入校者が一堂に集まったのにぎにぎしい集いでした。清水市長さんはさいたま市の素晴らしさを数々語られていました。改めてここに住んでいる幸せを痛感いたしました。

さてこれから秋に向けて学友会の楽しい活動（文化祭、親睦旅行、卒業懇親会、記念文集）が始まります。まずは文化祭です。皆様におかれましては全員参加型の催しに、ソロのステージに、展示品等等、プレゼンテーションをよろしくお願ひします。各班ではいろいろと準備されて頂いている事と思います。この際、存分に自分をアピールされて楽しまれてはいかがでしょうか。そして皆で盛り上げましょう。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。暑さ未だ厳しい折、皆さまにはくれぐれもお体大切になさってください。

## 清水勇人 さいたま市長 講和「市政について」

猛暑の中、8月22日市民会館おおみやにてさいたま市長講話が開催され、会場一杯の参加者が耳を傾けた。始めにさいたま市をどのような街にすべきかについて抱負を語られた。「まちづくりの基本方針として1：東日本の中核都市2：日本一の安心減災都市3：日本一の教育文化都市4：環境未来都市

5：健“幸”都市を強調された。政令指定都市としての市民からの借金は他の年に比べかなり低いことを言っておられたが、一番の問題点はさいたま市が今後急速な高齢化社会に突入する事が統計で明らかであるので、この問題を如何に乗り越えられるかが課題として残されている。加えて、現在抱えている問題点は公共施設の老朽化と高齢者対策として3年間で834億円の資金不足となることになり、この問題の処理に市民の皆様にも関心を持って頂きたい。さいたま市は見沼田んぼを中心とした自然豊かなエリアを有しており、ここに日本一の桜並木を目指して植樹を進めており、明るい見通しが持てる。安心して住めるさいたま市を目指して今後も協力をお願いする。」と締めくくられた。（文責 瀧田）



## 人間行動についての幾つかの疑問—納得することと騙されること

日本交通安全普及協会 川口 雄氏

人は様々なシーンで勘違いをしたり間違った解釈をしたり、はたまたその結果誤解を招いたりする。そんな人間の行動を社会心理学的に解析した研究結果を、「日本のことわざ」にあてはめて解説して頂いた。1：人間行動についての疑問2：人間の欲求（欲望）3：文化の違いの3点から様々な例を使って人間がはまり易い弱点など参考になった。「急いては事をし損ずる」「情けは人の為ならず」「類は友を呼ぶ」「一犬虚に吠ゆれば、万犬実を伝う」「虎の威を借る狐」「無い物ねだり」「武士に三言なし」など日頃から耳慣れたこの七つの諺から、本当の意味するところを知ることの大切さを学ぶことが出来た。しかし、全ては自分を信じて行動する事が必定ではないであろうか。（文責 瀧田）



## 9月～10月の予定

- 9月30日「からだ漢字」の成り立ちと広がり 「異文化理解」/イスラム世界
- 10月 7日 一時限「かしこい消費者」 二時限「一皿を仕事に出来る幸福」
- 10月28日 文化祭（展示品搬入は27日10時にワッツ5Fまで）
- 11月18日 一時限 高齢者の交通安全 二時限 暮らしの税情報

## 紙面作りにご協力を

この会報は皆様会員の投稿によって出来ております。内容は全く自由ですので何でも結構ですので、今月はお陰さまでお二人の投稿がありました。感謝

## 厳島神社 菊花祭の思い出

投稿 4班 唐澤 初枝

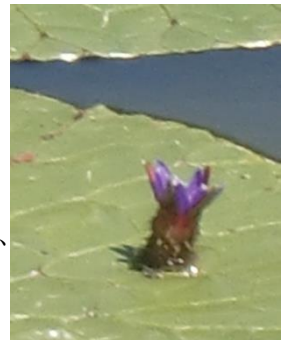
毎年10月15日、あたりが少し夕闇になるころ菊花祭の神事が終わり、世界遺産厳島神社の高舞台上で舞楽が始まります。平安朝末期、平清盛によって大阪の四天王寺より伝えられて以来、今日まで大切に守り継がれている貴重な伝統芸能がこの舞楽。それはその昔外国から伝えられたものですが、すでに諸外国には残っていません。緋毛せんの上をしずしずと笙や鉦の伴奏にのり高舞台上に上がります。面をつけ唐風の赤い衣装を纏った二人がおおらかに舞い形を決めます。演目は十程ありました。すっかり引いていた海水が大鳥居のあたりに満ち徐々に高舞台にもザアアと音をたて打ち寄せてきます。もうすっかり暗闇、大鳥居、五重塔、厳島神社は灯籠に火をともしライトアップされ、見るものを平安の世界に誘い入れるのです。私にとって生涯忘れえぬ大切な思い出でした。皆様も是非一度こうした幽玄の世界に触れてみられては如何でしょうか。



## え！！これが古代蓮の花？（鬼蓮）

投稿 1班 大塚 幸子

花散策クラブ3回目。行田の蓮の花を散策しました。広い園内の奥の方に古代蓮の池があり一面大きな葉が浮いていて、中には強風にあおられて裏返しになっていた葉もありました。「あれが花よ」と教えていただいたのでシャッターを押したのですが、それまで見てきた赤、白、ピンク、黄色の大きな花とは違い、「これが蓮の花？」。でも気品のある紫の可愛い花でした。珍しいですね。タワーの上から見た「田んぼアート」も7種類の稲で（黄色は黄大黒という種類）地域の方々やボランティアの皆さんのお力で見事にできていて、とても見応えがありましたよ。お昼には参加いただいた皆様で特産のうどんを賞味しました。



### ==== 文化祭についてのお願い ==== 文化祭テーマ 「全員参加 絆を深め 楽しもう」

学校生活待望の文化祭が下記の通り開催されます。各班におかれましては準備万端怠りないことと思います。文化祭の趣旨は各班の絆を深め、メンバー全員で参加する事に意義があると思います。日頃より嗜まれた特技を皆さんに披露する事も大切な目的でもあります。どうか後々まで思い出に残る楽しい一日にしましょう。残された時間は僅か2カ月足らずです。その間、各班と個人的に参加される皆様におかれましては、何度もリハーサルを怠りなく最高のパフォーマンスを御期待申し上げます。私ども担当班も頑張っておサポートをお約束いたします。

文化祭担当委員長 渡辺 守

開催日：平成25年10月28日（月） 担当：3班 5班 6班

出し物：各班全員参加 個人・グループ 太極拳 吟詠 朗読 大正琴 演芸 手品 落語 フラダンスなど

展示品：各クラブ活動報告（模造紙1～2枚程度）個人 書道 絵画 写真 手芸品 その他

作品の搬入は10月27日10時までをお願いします（ワッツ5F展示室まで）

持ち時間：各班 10分程度 個人5分程度（時間表作成の為各自が9月30日までに担当に申告）

最後に全員での合唱で締めくくりたいと思います。

### 前沢 暘三のひとりごと 「麻雀クラブについて」

去る5月クラブ活動のアンケートを配布され、すぐに会員の募集をした結果、当日3名が集まった。しかし、ご存じの通り麻雀は4名でのゲームであるため、成立不可能と諦めていたが、会員さんの努力で5名でのスタートとなりクラブとして成立。会場や道具について区役所に相談したがどの公共施設にも無いとのこと。よく高齢者のスポーツには麻雀は頭の体操や指の運動などによるボケ防止に大変効果があると広報等で宣伝されていたのに「無いとはコレイカニ」。その後、会員が会場と道具を周旋してくれ、第1回の集いを開催する事に至った。会員各位は現役のころを思い出し澁刺と楽しい時を過ごすことが出来た。腕自慢募集中です。